

令和3年度 事務事業評価表 (令和2年度実績)

事務事業名		建築設計監理事務費			担当所属	建築課		
基本情報	分野	9 都市経営		事業期間	～			
	基本施策	2 適正かつ透明な行政運営の推進		会計種別				
	推進施策	6 その他		実施計画		総合戦略		
事業概要	対象	公共施設						
	意図	公共施設の安心・安全、質の高さを効果的・効率的に実現する。						
	成果	新規事業を始め老朽化した公共施設を限られた予算の中で、安心・安全で質の高い施設整備・改修ができています。						
	手段	安心・安全の観点から、公共施設の整備をはじめ、未実施の耐震化の促進や市民の要望に応える質の高い施設の提供を目指す。						
指標	活動指標	指標名		単位	H30年度実績	H31年度実績	R2年度実績	R3年度見込
		安心・安全な公共施設	目標値	%	100	100	100	100
			実績値	%	100	100	100	-
			目標達成度	%	100.0	100.0	100.0	-
コスト	(単位：千円)		平成29年度 決算	平成30年度 決算	平成31年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 予算	
	トータルコスト		141,960	171,043	154,903	151,718	144,523	
	事業費		1,968	2,131	2,422	1,463	1,423	
	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		受益者負担	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
	一般財源		1,968	2,131	2,422	1,463	1,423	
	人件費合計		139,992	168,912	152,481	150,255	143,100	
正職員		139,992	168,912	152,481	150,255	143,100		
正職員以外		0	0	0	0	0		
(事業費集計済分)		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)		
人員	正職員 (人)	19.00	23.00	21.00	21.00	20.00		
	正職員以外 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
周辺環境	開始時の周辺環境							
	市民より、公共施設の安心・安全、質の高さを求められている							
	現状の周辺環境							
質の高い公共施設の整備、耐震化の促進に取り組んでいる								
今後の予想される周辺環境								
より質の高い公共施設整備が求められる								
評価	妥当性	評価項目	評価	評価の理由				
		1. 市の関与 (税金支出)	A	公共施設の目的に対し効果的な施設の整備・改修を、限られた予算の中で効率的に実施する必要があるため。				
		2. 事務事業の目的 (対象・意図)	A					
	3. 事務事業の目標 (活動指標等)	A						
	有効性	4. 計画の実施状況	A	市民センター、休日夜間救急診療所の新築や各種施設の耐震補強・外壁・防水・学校のトイレ洋式化などの改修を実施した。				
		5. 目標 (活動指標等) の達成度	A					
		6. 上位施策への貢献度	A					
		7. 事業成果の向上へのさらなる取組み	B					
	効率性	8. コスト削減へのさらなる取組み	A	安価な建築資材の選定、改修範囲の必要最小限化、建築課での自前設計など。				
		9. 類似事業との統合・代替の検討	A					
10. これまでの実施手段		A						
総合評価	A	新規事業を始め老朽化した公共施設を限られた予算の中で、安心・安全で質の高い施設の整備・改修が出来る。						
改革案	今後の実施方向性	維持						
	成果方向性	成果維持						
	コスト方向性	コスト維持						
	改革効果 (どのような効果が期待できるか)							